

## 地中熱を活用した農産物工場 —地中熱の有効利用でカーボンニュートラルを—

「地中熱を活用したヒートポンプシステム」を農産物工場に導入することで年間を通して安定した温度の地中熱を活用することができ、省エネ、カーボンニュートラルの実現を提供しています。自社でも地中熱を空調に利用した農産物工場を新設し、国産「きくらげ」の生産を始め、地元飲食店と共同で、市場では希少性のある「生きくらげ」を使ったメニュー開発を行い、地元の名産品に向け育てています。

所在地 埼玉県加須市加納873-2  
 電話/FAX 048-727-0111 / 048-728-2890  
 代表者 代表取締役社長 遠藤 康之  
<https://www.pecbor.cc/>

設立 2006年  
 資本金 1,000万円  
 従業員 15人



### 担当者より

カーボンニュートラルに貢献する地中熱を活用して、おいしい地球環境に優しい「きくらげ」をつくり、地元桶川市の名産品に育てていきたいと考えています。



求む！  
 飲食店や  
 食品加工  
 企業様

市場では海外産の乾燥きくらげが主流ですが、地中熱により生産した地元産の生きくらげを使っていただくことで、SDGsの取組に参画できますので、お問い合わせをお待ちしています

### ■ 国産生きくらげ

地中熱を利用し自社工場で生産した「きくらげ」を生のまま新鮮な状態で販売しています。環境にやさしいエネルギーで生産した、地元産の安心安全でおいしいきくらげをお届けします。飲食店や食品加工業の事業者様と連携してメニュー開発をしています。



### ■ 地中熱を利用した農産物工場

当社の地中熱を活用したヒートポンプシステムで工場内の空調を省エネに保ち、低コストでカーボンニュートラルに貢献できる農産物の生産工場設備を提供します。

